

頼高市長のあったか市政を問う

一般質問

3月議会では16・17・18日の
3日間で14人の議員が、市政に
対する一般質問を行いました。



議 長
前川 やすえ



質 問 席

あったか市政を問う

一般質問

3月議会では16・17・18日の
3日間で14人の議員が、市政に
対する一般質問を行いました。



新型コロナウイルスワクチン集団接種会場
(保健センター)

議 員 中山道蔵宿本陣跡交差点の安全確保について
中山道蔵宿本陣跡交差点の旧中山道側に歩行者用信号機が整備されていない。至急、設置を望むがどうか。
市民生活部長 多方面からの要望を踏まえ、蔵警察署において、埼玉県警察本部に最優先案件として設置を強く働きかけているとのことから、信号機設置の判断が近い将来なされるものと認識している。

議 員 今年度の基礎自治体の最大かつ最重要な事業は市民へのワクチン接種事業と言っても過言ではない。市民への接種時期についてはどうか。
健康福祉部長 高齢者分のワクチンが4月下旬から配分されるが、ワクチンの量に限りがあるため、高齢者施設の入所者から接種を開始し、段階的に対象を広げる。その後、高齢者以外の基礎疾患のある方、高齢者施設従事者、その他の一般市民と順次接種を進める予定だが、ワクチンの供給予定や接種スケジュールについては、国から示されていない状況であり、国や他団体の情報収集を積極的に行うなど、国の動きに備えたい。

新型コロナウイルスワクチン接種事業について

議 員 市が歳入を積極的に確保する考えであれば、エントリーすべきであった。次回同様の提案があった場合にはぜひ対応してほしい。また、若手職員のアイデアを吸い上げるように尽力してほしい。

小 林 利 規 議員（無所属）
ふるさと納税8億円
アイデアについて



こばやし りき

三輪 かずよし 議員（日本維新の会・無所属連合）

新型コロナウイルス ワクチン接種事業について

議員 ワクチンの接種方法をどのように考えているのか。

健康福祉部長 ワクチン接種は国が定める優先順位に従って進められており、まず医療従事者への接種は3月より市立病院で実施している。続いて、65歳以上の高齢者への接種は、市内医療機関での個別接種と集団接種を併用する形で実施する計画である。その後、基礎疾患のある方や高齢者施設等の従事者、一般市民と順次接種を行うが、今後、国から示される具体的なワクチン

ン供給予定や接種スケジュールに基づき、接種方法の検討を進めていきたい。

議員 高齢者への接種時期と終了見込みについてはどうか。

健康福祉部長 当初は、3月下旬から高齢者の接種ということで、2カ月と3週間ぐらいで高齢者の接種を終えるような準備体制を整えていたが、3月12日付の県知事からの通知で、4月26日の週にファイザー社製のワクチン1箱、2回接種分で485人分を分配するという通知が届いたところである。

議員 国からワクチンが少量しか配分されない状況があり、混乱が生じる恐れがある。高齢者の接種については、施設入所者から優先的に接種を行うとのことであるが、その後の接種については、年齢等で優先順位をつけるかどうか。



みわ かずよし

健康福祉部長 対象年齢を区切った形での接種券の配送を含めて検討している。

水害対策について

議員 電柱に表示されている水害時の想定浸水深表示によれば、南町の場合、ほとんどが家屋の2階まで浸水する恐れがあることになるが、それでも垂直避難を勧めるのか。

市民生活部長 想定浸水深が3メートル以上で、建物2階部分まで及ぶ可能性がある場合、平屋建てや2階建ての建物にお住まいの世帯に対し、自宅外への避難を促している。

議員 水害時用災害備蓄品として、現状で6艇のボートが配備されているようだが、救助用ボートを各消防団にも配備すべきと考えはどうか。

消防長 消防団へのボートの配備については、今後検討していきたい。

ほかに 「電子商品券支給事業」について質問。

一般質問

一関 和一 議員（立憲民主党）

市民サービス及び利便性の向上を図るため 新庁舎にパスポート（旅券）センター新設を

議員 県からの権限移譲で多くの市町村窓口でパスポートの発行事務が行われているが、本市が未設置の理由はなぜか。

総務部長 大宮のパスポートセンターへのアクセスがよく、また、平成25年10月からは西川口駅前の川口パスポートセンターにおいても取り扱いが可能となったこと、新たな窓口スペース等も必要になることから設置に至っていない。

2050年脱炭素化社会に向けた対応について

議員 本年2月25日時点では東京都・京都市・横浜市をはじめとする全国の281の自治体が「ゼロカーボンシティ宣言」を矢張り早くに表明している。県下においてもさいたま市をはじめ、徐々に広がりをみせており、本市も否応なしに対応が迫られているがどうか。

市民生活部長 今後、改定を予定している蕨市環境基本計画において、市と一体となつて取り組んでいただく市民の皆様と具体的な施策をお示した上で、宣言を行っていくべきと考えていることから、引き続き

総務部長 現在、より市民の



いちのせき かずいち

き、宣言をした市の取り組み状況を注視するとともに、本市においてどのような取り組みが可能で、その効果がどの程度見込めるのかを検討していきたい。

財政難下における敬老祝金制度の早期見直しについて

議員 これまで敬老祝金制度の抜本的見直しを行い、その財源で新たな高齢者福祉や子育て世代への支援策に充当してはどうかと進言し続けてきたが、コロナ禍の財政難下において、今が適時適切な見直しの時期ではないか。

健康福祉部長 高齢者福祉に限らず、社会保障にかかる費用については、現下の経済状況や家族構成の変化、さらにコロナ禍といった状況から今後とも支出が増えるものと考えているが、敬老祝金制度の見直しやそれに伴う財源の活用については、市全体での総合的な判断の上で実施するものと考えている。



市内でパスポートの発行を可能にして利便性の向上を

市民生活部長

今後、改定を予定している蕨市環境基本計画において、市と一体となつて取り組んでいただく市民の皆様と具体的な施策をお示した上で、宣言を行っていくべきと考えていることから、引き続き

健康福祉部長

高齢者福祉に限らず、社会保障にかかる費用については、現下の経済状況や家族構成の変化、さらにコロナ禍といった状況から今後とも支出が増えるものと考えているが、敬老祝金制度の見直しやそれに伴う財源の活用については、市全体での総合的な判断の上で実施するものと考えている。

コロナ禍においてより重要とされる心の健康について

議員 学校現場において、児童・生徒の心の健康について変化してきたことはあるか。

教育長 1学期は、臨時休校明けの学校再開時における新しい学年、学級に対する不安や感染不安を訴える児童・生徒が見られた。2学期は、保健室に来室する児童が例年より増加傾向であった学校があったほか、さまざまな学校行事が中止になり目標を見失ってしまう生徒が見られた。3学期は、受験を控えた6年生や中学3年生の中に感染不安を訴える児童・生徒が見られた。スクールカウンセラーやさわやか相談員等による支援体制を整えるなど、心の健康問題に適切に対応し、現在は感染不安を訴える児童・生徒、保護者は減少している。

心の教育として大変重要だと感じている。各小・中学校での活動の詳細と、本プロジェクトの保護者への周知はどのようににされたのか。

教育長 本プロジェクトは、新型コロナウイルスに感染された方等に対する偏見や差別をなくすことを目的に愛媛県の有志の方々が立ち上げたもので、シトラス色のリボンを身につけて、思いやりの気持ちであらわす活動として全国に広がっている。各校では、校内へのポスター掲示のほか、特に中学校では、全生徒及び教職員がシトラスリボンを名札やかばん等に貼付し、保護者に対しては、学校だよりや学年だより、ホームページなどを通じて、その趣旨や取り組みの様子を紹介している。

教員のわいせつ行為防止のために市ができること

議員 教職員によるわいせつ事件のニュースが多く報道されている。教育委員会ではどのように対策を講じているか。

教育長 不祥事の根絶に向け、教職員一人一人が当事者意識を持って向き合い、果たすべき崇高な使命をしっかりと意識して行動するよう、各校において、「教職員の使命と誇りの再認識」「風通しのよい職場づくり」「自分のこととしてとらえる当事者意識の醸成」「意識の向上を図る短時間研修の繰り返し」「職歴の浅い教職員や臨時的任用教職員への不祥事防止研修」の5点を意識し、実効性のある研修を含めた取り組みを引き続き実施するよう指導する。



いまい ようこ

議員 シトラスリボンプロジェクトは、心の感染防止対策として、



ほかに ICT支援員の配置（給食センターの換気設備更新）について質問。

人にやさしいデジタル化を積極的に

防災行政無線デジタル化について

議員 防災行政無線がデジタル化され、4月以降は希望者に放送内容を電話やファックス、多言語化したメールで提供し、一斉情報伝達サービスを活用し、災害情報の迅速かつ確実な提供を行い、難聴地域への問題も解消できるとのことだが、この情報取得方法が正しく周知されているのか。

市民生活部長 本事業の概要は、既に広報版3月号にて周知し、さらに翌4月号の広報版にリーフレットを折り込んで周知を図る予定であり、市ホームページ等でも広報する。

教育ICTの活用について

議員 不登校に限らず、例えば児童・生徒の保護者が新型コロナウイルスに感染、または自宅療養となった場合、保護者が完治しても、その子どもは濃厚接触者となり、さらに2週間近く学校に行くことができない。端末の持ち帰りを検討し、不登校や長期休養中の児童・生徒にもICTを利用したデジタル教材を活用して、自宅で学習する環境整備をすべきと考えるがどうか。

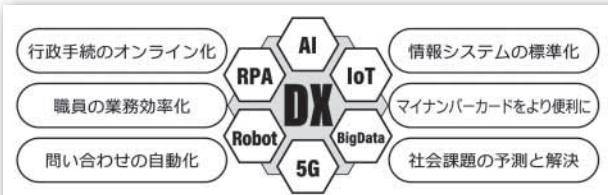
教育長 不登校や長期休養中の児童・生徒の要望や実態を踏まえ、保護者と学校がよく相談した上で所定の手續により、端末を貸与することとしている。基本的な運用ルールを設定するとともに、相互通信する教科や時間、宿題等が児童・生徒の負担にならないような形での活用を進める。

自治体DXについて

議員 DXとは、デジタル・トランスフォーメーションのこと。自治体においては行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、A等などの活用により業務効率化を図り、人的資源

を行政サービスの更なる向上につなげていくことが求められる。本市では、どのようなものを想定しているのか。

総務部長 市民の利便性向上のための窓口におけるAIの活用及びICT環境整備、行政事務の効率化のためのAI・RPA等を活用した定型業務の効率化等のアクションプランについて、先進例を調査・研究しながら、時代に即した対応を図っていくきたい。



ふるかわ あゆみ

一考の価値あり、带状疱疹 ワクチンの接種費用補助！

議員 带状疱疹は水ぼうそう（水痘）にかかった後、人の脊髄後根神経節に水痘ウイルスが潜伏していて、免疫の低下や加齢、疲れ等によって抵抗力が落ちると体の片側の神経に沿って強い痛みと帯状の湿疹が出る。特に顔面に出ると顔面神経麻痺にもなり、1年以上も鋭い痛みが続く。子どもの接種が平成26年に定期化されてから、水痘にか



かる機会も減り免疫力低下で带状疱疹は増加傾向。発症は高齢者で多く、50歳以上の発症が65・7%という統計もあり介護リスクも高くなる。有効性の高い予防ワクチンがあるが、接種推奨や費用補助の考え方はどうか。

健康福祉部長 带状疱疹予防ワクチンとして、平成28年3月から水痘ワクチン、令和2年1月から带状疱疹ワクチンの2種類が50歳以上の方に

に対する任意接種として開始さ



援センターとの話し合いの場を設け、顔の見える連携を図っている。民生委員の負担も考慮しながら、よりよい連携が図られるように必要な取り組みを引き続き進めたい。

老朽化が進む下水道の維持管理は？

議員 昭和40年頃からの使用での老朽化に加え、近年はゲリラ豪雨による事象（下水汚泥の地上流出も見られる。管理はどのようか。また、市民が気を付けることは何か。

都市整備部長 下水道管の維持管理として、計画的に下水道管内を清掃し、特に土砂等が堆積しやすい箇所は高い頻度で清掃している。また、例えば水に溶けないティッシュペーパーや紙おむつ、生ごみ

油などを流されると、沈殿や硬化が起きて下水道管が詰まる原因になる。市民の方々は、下水道の機能に影響を与えるようなものは流さないように心がけていただきたい。

一般質問

蕨の農業と消費者を 結ぶ取り組み

議員 農産物直売会について、コロナ禍の影響から市内の飲食店に蕨の野菜を食材として購入してもらう取り組みを実施したが、成果と今後の実施方法についてはどうか。

市民生活部長 蕨商工会議所との共催で実施し、飲食店からは「定期的に野菜を仕入

たい」、農家からは「自分たちの野菜を知ってもらい交流できてよかった」など、双方に好評で都市農業のPRになった。今後は市民向けの即売も含めよりよい方法を検討する。



昨年開催された蕨市園芸品評会

議員 蕨の農業に生産工程管理（GAP）を導入し、食品

安全、環境保全、労働安全等、持続可能性を目指すことで、SDGs達成にも貢献できることから、本市がGAPの導入を推進してはどうか。

市民生活部長 GAPに取り

組むことは、農業生産の適正な管理と事故やリスクの軽減につながることから、埼玉県独自のS-GAPの推進を含め、農業者の視察やセミナーの機会をとらえて周知してい

く。市としては埼玉県とのS-GAPを周知し、県の農場評価制度を活用したい。

データ入力障害者就労支援施設の作業メニューへ

議員 就労支援施設の作業メニューはどのように決められているのか。また、十分な業務量が確保されているか。

健康福祉部長 各施設が担当する作業を決め、受託の可否を判断している。複数の作業や生活訓練に取り組み、業務



量は概ね充足している。
議員 市のデータ入力業務を外注している代表的なものは、
総務部長 市民税賦課に際し、各事業所からの給与支払報告書などがある。

議員 データの入力作業アプリを活用し、就労支援施設で行うことはできないか。

健康福祉部長 受託可能なものであれば、作業の選択の幅を広げるが、まずは調査・研究していきたい。

蕨市電子商品券支給事業について

議員 セキュリティの考え方、個人別カードの識別方法、複製を防止する対策については、
市民生活部長 セキュリティは事業者選定の条件にして厳格に審査する。個人コードを記載し、使用状況をシステム上で識別する。コピー防止加工などの効果的な対策を講じ、不正利用の防止に取り組む。

ほかに 「防犯カメラのクラウド録画方式導入」を質問。

ヤングケアラーへの支援について



ヤングケアラーへの支援を

議員 ヤングケアラーとは、難病や要介護、障害など、家族にケアを要する人がいる場合に、家事や家族の世話、介護などを行っている18歳未満の子どものことを言う。不安や負担を抱えるヤングケアラーを見守り、相談できる体制の整備が求められている。ヤングケアラーの問題をどのように認識しているのか。

健康福祉部長 ヤングケアラーの問題は、障害や病気のある家族等への看護や介助、身の回りの世話をするため、家事や幼い兄弟の世話、家計を支えるための労働などにより

デジタル母子健康手帳について

議員 デジタル母子健康手帳アプリは、紙の母子健康手帳と並行して利用するもので、子どもの誕生日を入力すると、予防接種日のお知らせが自動的に配信され、事前に知らせてくれるため、受診忘れの防止に役立つなど、電子ならではの利便性で、妊娠・出

議員 本来だったら自分の勉強を優先にしていかなければいけない、そういう子どもたちがどのような悩みを抱えているのか、SOSに気づく視点を持つことが重要である。継続的な実態調査をするなど、早期にヤングケアラーの子どもたちのSOSに気づく仕組みを整備してほしい。

健康福祉部長 デジタル母子健康手帳アプリは、紙の母子健康手帳と並行して利用するもので、子どもの誕生日を入力すると、予防接種日のお知らせが自動的に配信され、事前に知らせてくれるため、受診忘れの防止に役立つなど、電子ならではの利便性で、妊娠・出

議員 本市新型コロナウイルス緊急対策第5弾において、生活が困窮している世帯に食料の配布と、生活相談を実施する。本市社会福祉協議会へのフードパントリー補助事業を実施した。フードパントリーの対象者の判断基準は何か。

健康福祉部長 先進事例を参考に、今後研究したい。



ほんだ ていこ

あつたか市政を問う

議員 不妊治療の助成が1月から拡大した。内容は、**健康福祉部長** 1回目30万円、2回目以降15万円の助成額を2回目以降も30万円にし、最大6回までの助成回数子ども1人につき6回までとし、所得制限を撤廃した。

議員 県が窓口でも、保健センターのHPに内容載せるなど、市としてもPRを。また、出生前診断の相談窓口等、はどのようにしているのか。

健康福祉部長 医療機関等を案内するが、今後、市町村の窓口ですべての妊婦にリーフレットを渡し、関心のある方に保健師等が説明する案が国で示されている。

議員 素早く手厚い対応を。

議員 バブル崩壊後に就職時期を迎えた世代は、非正規雇用などで苦しんできた方が多い。市として就職氷河期世代の方を職員として採用する

議員 引きこもりやニートになつてしまつ方も多い。専門の職員を配置して、最後まで寄り添つ対応をする考えは。

総務部長 市の職員は34歳、49歳の割合が高い。年齢構成を考えると難しい。

議員 一方で就職氷河期世代に限り、非正規での採用については考える余地がある。

議員 引きこもりやニートになつてしまつ方も多い。専門の職員を配置して、最後まで寄り添つ対応をする考えは。

不妊治療助成拡大市としてもPRを



「さよなら私のクラマー」市立図書館の特設コーナー

議員 全国的には、募集すれば少ない枠に多くの応募があり、優秀な人材が採用できることもある。今後検討を。

議員 本市を舞台とした女子サッカー漫画「さよなら私のクラマー」のアニメ化、映画化により、コロナが収束すれば本市に来訪される方もいるだろう。グッズ等を常設販売できないか。



えのもと かずたか

道路照明灯LED化に当たっては、歩道に影がでぬよう工夫を

議員 道路には防犯灯、商店街灯、道路照明灯などの様々な灯りがある。目的は道路を適切に照らすことであるが、掲載写真のように、道路照明灯の明るさ・角度によっては、街路樹が歩道に影を作ってしまう場合がある。歩道交通の上で危険であるし、防犯面でも危なく感じる。令和三年度予算道路照明灯全てのLED化については高く評価するところであるが、この際、他の灯火、周囲の家の灯りやお店の看板の灯りなどの、照明の角度・明るさのバランスを

考慮して、歩道に影がでないように工夫してほしい。

都市整備部長 LED灯設置時に配光を調整したい。

蔵市DX方針、その三「世代間対立の拡大を防ぐべし」

議員 蔵市DX（DX：デジタル化によって暮らしをよくすること）方針の私案として、一・最先端を目指すべからず（令和元年9月）

二・蔵市DX先富論（令和2年9月）

（令和2年9月）を一般質問の中で唱えてきたが、加えて

三・世代間の対立を防ぐべし

を掲げる。今日の我が国は、「老害」という言葉が生まれる

ほどに、世代間対立が激化してしまった。その理由は、①我が国が貧しい国になりつつある。②少子高齢化のスピードが早過ぎて、資源の再配分のバランスが急速に崩れてしまった。



住宅街の道路照明灯。かわいらしい街路樹の下には濃い影。道路交通面でも防犯面でも危険。



ほや たけし

③ここ最近の技術進歩が激し過ぎる。の3点である。技術の進化は、取り扱いを誤ると、使いこなせる世代と使いこなせない世代との、世代間の対立を加速させてしまう。デジタルを使いこなせない世代に配慮して古いアナログなやり方を放置していったら残すのは、対立の芽の放置でしかない。使いこなせるように積極的に導いていくこそが、世代間対立を和らげる道であると考ええる。

総務部長 さまざまな状況への対応を検討していきたい。

錦町のわびざり通り・錦町松原線の交差点・双葉酒店の角への交通信号設置を

議員 錦町区画整理の進展に伴い、交通量が増し、危険である。かねてより要望してきた交通信号の設置を、関係諸機関により強く働き掛け、実現するよう改めて要望する。

都市整備部長 埼玉県警本部と蔵警察署に強く要望してきた。今後も協議を続ける。

一般質問

コロナ禍による高齢者施策への影響と対策

議員 新型コロナの影響による高齢者事業の中止や交流機会減少等の影響は、高齢者の健康や認知症対策等さまざまな面で深刻である。見守り活動等での通報件数と対応状況はどうか。

健康福祉部長 通報55件中、入院中等で問題なしが34件、死亡11件、救急搬送9件、福祉部門による対応が1件。

議員 命を守る役割は大きい。見守り活動を広げるための情報交換や交流誌発行を要望する。ところで、高齢者の居場所となる老人福祉センター・



居場所づくり等でも役割が期待される（第三地域包括支援センター 塚越2丁目）

老人憩いの家の状況は。

健康福祉部長 新型コロナ対策による休館やイベント中止等で利用者数は減となった。

議員 この間の傾向では、特に個人利用の減少傾向が気にかかる。感染防止等での制限はあるが、個人が利用しやすい環境づくりを要望する。ところで、3大プロジェクトの一つ「超高齢化社会に対応したまちづくり」における新型コロナの影響と今後の対応について市長の見解はどうか。

市長 認知症対策も含め大きな影響がある。その中でも工夫し、市民の取り組みも含めて可能な対策を行っている。当面、ワクチン接種をしっかりと進め、従来の取り組みの再開に当たっては、市民の不安やさまざまな難しさにも丁寧に対応しながら進めたい。

議員 不安の解消へ相談体制の充実等も要望する。

大規模水害への備えを

議員 防災に関する事業における新型コロナの影響は。

市民生活部長 総合防災演習、避難所運営訓練等、参加者の間隔を保つことが難しい事業は開催を見送った。

議員 6月議会で、大規模水害対策として居住環境や地域特性による避難方法を市民が検討できるように要望した。その後「荒川氾濫時の避難行動判定フロー」が作成・全戸配布されたことは第一歩。今後、周知・活用を進める取り組みはどうか。

市民生活部長 今年度には洪水ハザードマップの一部改訂・全戸配布を予定している。啓発面に想定浸水深表示や避難行動判定フローを取り入れ、改めて周知していきたい。

議員 さらに、個別の避難方法を検討する出前講座や自主防災会担当者の学習会等を開催できないか検討を要望。

ほかに 「留守家庭児童指導室の体制拡充」「町会への支援」について質問。



すずき さとし

ボール遊びのできる公園整備 相談窓口等の周知強化を

子ども達が自由に遊べる空間の確保を

議員 「この子たちにも思い

つさりボール遊びをさせてあげたい」などの保護者の声を伺った。市のアンケート調査にも共通する声が寄せられている。総人口に占める「子どもの割合」は減少しており、社会の中で子どもはマイノリティになっている。全国的に公園数は増えているが、ボール遊び禁止など、遊びづらい状況が首都圏を中心に広がっている。都市公園や学校校

庭等の活用など、子どもたちがのびのび遊べる空間の確保の必要性について、どのように考えているのか。

都市整備部長

子どもたちが自由に遊べる空間の確保が求められていることは認識している。今後、公園の新設・リニューアルの際には「ボール遊び」に対する地域の要望や考えを伺いながら検討したい。

教育部長

校庭は、施設管理面での担保ができない等の課題や、実際に場所を設けたときに活用されるかというところもある。子どもたちや地域の声を聞きながら検討したい。

市長

市内全域が市街化されている中で課題は多い。子どもたちが自由に遊べる、ボール遊びを含めた空間について、健やかな成長、子育てのしやすいまちにとつて、とても大事だと思っている。市長タウンミーティングでも声を寄せていただいている。今後、錦町の区画整理事業の中での新たな公園計



たけした りょう

画で検討するとともに、リアルとリアルといった機会も含めて、研究・検討を進めたい。学校施設の活用は、難しい課題はあるが、貴重な空間であることは間違いない。学校教育を最優先に考えながら、今後研究する価値があると思うている。公園の整備を進めながら、ボール遊び等の問題も考えていきたい。

議員

まさに子どもの声が響くことを、あたたかい眼差しで見られるように、取り組みを強めていただきたい。

いのちを守るためのアウトリーチの推進を

議員

自殺予防対策という観点から、理容室・美容室や商業施設と連携し、リーフレットなどの配架・配布等の協力を求めている他市の先進事例などを取り入れ、相談窓口の認知度をいっそう高めるような周知を強めるよう要望する。健康福祉部長 商業施設にもお願いしていきたい。

蕨市は「県に市民の負担に配慮した対応策を」と意見表明

議員 埼玉県国民健康保険連

盟方針（第2期）の内容は。

市民生活部長

令和8年度までに赤字を解消する目標年次の設定、令和9年度からの収納率格差以外の保険料水準の統一、賦課年度の法定限度額の統一を目指すことの3点が主なものである。

議員

県の方針に対する市の対応については、これまでどういった意見を上げてきたか。

市民生活部長

市町村の実態を踏まえた設定とするよう、また、被保険者の負担に配慮した対応策を盛り込むよう県に意見表明をしたが、いずれも第2期方針への反映には至らなかった。

議員

本市の計画は、それに伴いどう変更されたか。

市民生活部長

本市の赤字削減・解消計画は平成31年3月に赤字額約8億円に対して、約3割削減する計画書として提出していたが、第2期方針の策定を受けて、令和5年度までに約7割の削減を目標と

して変更計画書を提出した。

議員 県の第2期方針に対する市長の見解はどうか。

市長

国保は皆保険制度の要となる大事な制度である。本来の国の負担が減らされている中で、他の保険よりも1.3〜1.7倍の保険料となっている。第2期方針は市の意見が反映されていない。市民の暮らしを守る立場から、国には責任を果たすべきだと市長会などを通じて、引き続き要望していきたい。

議員

子育てするなら「わらび」保育行政と子育て支援の推進を

議員

待機児童解消に向けてどのような努力を行う考えか。

健康福祉部長

保育・子育てでコンシエルジュによるきめ細やかな相談対応等により、待機児童の解消を図っていく。



やまわき のりこ

議員

子育てAプロジェクトの拠点場所や進捗状況は、

総務部長

昨年11月に締結した京都大学と株式会社ほつこりのプラスとの3者間の連携協定に基づき、今年度には実証実験を行うため、福祉・児童センター内にAとオンライン相談を予定している。

議員

ラインによる子育てアプリの利用状況はどうか。

総務部長

624人の登録。ワクチン接種や健診時期、子育て情報など市の子育て情報もリンクできるよう研究してほしい。

ほかに

公園の整備や樹木剪定について質問。



高齢者・障がい者のための ごみ出し「ふれあい収集」を

議員 高齢者や障がい者にとつて、大きなごみ袋や重たい新聞の束を集積所まで運ぶのは大変な作業である。認知症等になると曜日や分別のルールを覚えることも難しい。現在本市では、ごみ出し有償ボランティア事業があるが、無料での戸別収集サービスを実施してほしい。

市民生活部長 制度設計に、いましばらく検討を要する状況があるが、市長マニフェストの期間内、令和5年度中、4年以内には実施するよう検討していく。

議員 有償ボランティアでの



依頼会員は2017年度39人、2018年度96人、2019年度142人、2020年度2月末で165人と急増している。コロナ禍も影響し喫緊の課題となっている。早期の実現を要望する。

コロナ禍での子どもの メディア依存について

議員 一人一台のパソコン等端末が今年の1月に整備された。ICTの活用は利点と問題点の両方を考えるべきである。短時間で膨大なデータのやり取りができる反面、子どもの健康障がい等も報告されている。埼玉県の子供安全見守り講座のアドバイザーと「蕨市アウトメディア指導員出前講座」の指導員は、蕨市に住んでいるので、全校的に周知啓発し、更なる活用を要望するが考えは。

教育長 各学校には通知等で積極的な活用を促すとともに、校長会で



みやした なみ

も話している。ただ、学校の事情があり、事業の選択が必要となるが、そういった指導が受けられる体制づくりをしていきたい。

ひとり親世帯民間賃貸住宅 家賃助成制度について

議員 3人以上の世帯について、家賃の上限額が6万円から8万円に改正された。この問題については、2017年3月定例会の一般質問で取り上げ、家賃上限額を上げて欲しいと要望していた項目であり感謝する。そういった状況を踏まえ、今後は助成金額の増額と、2人世帯の家賃上限額6万円についても見直しをしてほしいと要望する。

健康福祉部長 賃貸住宅の家賃の動向の調査と、引き上げた場合の影響について研究し、慎重に検討していく。

ほかに 「DV防止対策の拡充 市民向け動画（仮称）『あなたのおとなりがDVかも？』の製作」について質問。

あつたか市政を問う 一般質問

議会中継を実施しています!!

蕨市議会では、インターネットによる本会議の議会中継（ライブ中継・録画放映）を実施しています。市民の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市議会の傍聴を控えていただくようお願いをしております。パソコンやスマートフォンなどいつでも簡単に視聴することができますので、ぜひご覧ください。

インターネット中継・録画放映を含む市議会のくわしい情報は、蕨市議会のホームページをご覧ください。

蕨市議会

検索



QRコードを読み取って
ご覧いただくことができます!



蕨市議会会議規則を改正 請願書・陳情書提出時の押印を不要に

蕨市議会では、令和3年3月定例会において、議員提出議案第1号「蕨市議会会議規則の一部を改正する規則」を全会一致で原案のとおり可決しました。

これまで市民の皆様から提出される請願書や陳情書には提出者の押印を義務付けていましたが、今回の改正により、提出者による署名があれば押印は不要となります。（自署以外の記名については引き続き押印が必要です。）

また、本会議及び委員会の欠席事由として、出産に伴う欠席期間について、出産予定日の6週間前から出産後8週間までの範囲内という期間を具体的に規定したほか、「看護」「介護」「配偶者の出産補助」の事由についても欠席事由として規定し、多様な人材が市議会へ参画するための環境整備を実施しています。

6月定例会の日程（予定）

6月1日(火) 開 会	15日(火) 一 般 質 問
3日(木) 議案質疑・委員会	16日(水) //
4日(金) 委員会・分科会	17日(木) 一般質問・委員会
7日(月) //	21日(月) 閉 会
8日(火) //	

広報広聴委員会を開催しました

- 3月23日
「6月発行号の概要について・議会報告会について」
- 5月14日
「6月発行号の最終確認について」

令和3年3月定例会における議案に対する賛否結果

議案番号	議案名	令政 クラブ	日本 共産党	公明党	日本維新 の会：無 所属連合	立憲 民主党	無所属 (小林議員)	無所属 (榎本議員)	結果
議案第1号	蕨市手話言語条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	蕨市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	蕨市火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	蕨市重度心身障害者医療費の助成に関する条例及び蕨市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	蕨市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第7号	蕨市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	蕨市福祉・児童センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	蕨市道路の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	蕨市立公民館設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	令和2年度蕨市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	令和2年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	令和2年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	令和2年度蕨市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	令和2年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	令和2年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	令和2年度蕨市立病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	令和2年度蕨市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	令和3年度蕨市一般会計予算	○	○	○	○	退席	○	○	原案可決
議案第20号	令和3年度蕨市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	令和3年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	令和3年度蕨市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	令和3年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	令和3年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	令和3年度蕨市立病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	令和3年度蕨市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	令和3年度蕨市公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	教育委員会委員の任命の同意について	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第29号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	推薦
議案第30号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	推薦
議案第31号	町の区域を変更することについて	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度蕨市一般会計補正予算（第7号）)	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第33号	専決処分の承認を求めることについて (蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて (職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	承認
議員提出議案 第1号	蕨市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※議案第1・9・10・11・17・22・25号については質疑が、議案第6号については討論が行われました。質疑・討論の詳細な内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放映」からご覧になることができます。

政務活動費の領収書を公開しています!!

蕨市議会では、政務活動費の使途について、その透明性をより高めるために、蕨市議会ホームページにおいて令和2年度分の領収書等を公開しています。蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。また、議会だよりでは、令和2年度の政務活動費収支報告書を掲載します。(議員1人当たり月額33,000円の政務活動費が交付されました。)

令和2年度政務活動費収支報告

(単位：円)

会 派 名	令政クラブ (6人)	日本共産党 (4人)	公明党 (3人)	日本維新の会・ 無所属連合 (2人)	立憲民主党 (1人)	無所属 (小林議員) (1人)
項 目						
交 付 額	2,376,000	1,584,000	1,188,000	792,000	396,000	396,000
研 修 費	30,000	0	75,000	0	0	0
広 報 費	2,008,400	1,036,915	188,870	323,070	215,992	0
広 聴 費	0	560	0	0	0	0
資 料 作 成 費	283,612	389,095	423,439	50,120	84,607	54,496
資 料 購 入 費	73,960	144,866	501,968	0	108,504	0
支 出 額	2,395,972	1,571,436	1,189,277	373,190	409,103	54,496
返 還 額	0	12,564	0	418,810	0	341,504

※日本共産党は12,564円を、日本維新の会・無所属連合は418,810円を、無所属(小林議員)は341,504円をそれぞれ返還済みです。

資料購入費 829,298円

会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

資料作成費 1,285,369円

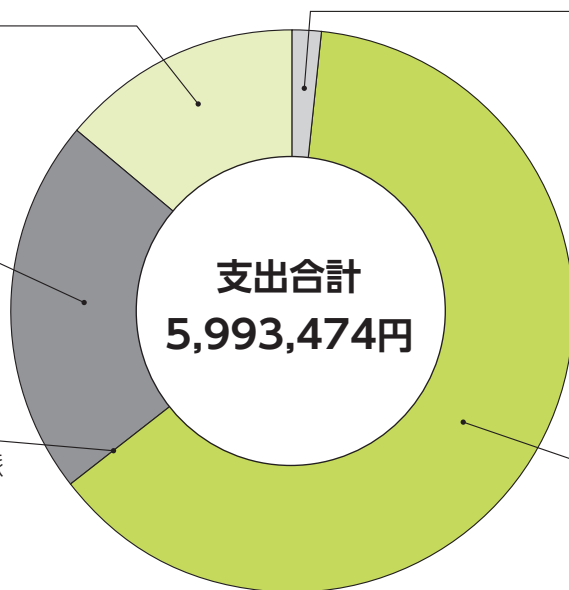
会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

広聴費 560円

会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費

研修費 105,000円

会派が研修会を開催するために必要な経費又は団体等が開催する研修会の参加に要する経費



広報費 3,773,247円

会派が行う市政について住民に報告するために要する経費

編集後記

コロナ禍で生き方・時間の使い方・消費スタイルなど、あらゆる方々のライフスタイル全般が変化しように思っています。チャールズ・ダーウィンが唱えた進化論の一節である『生き残る種とは、最も強い者ではない。最も知的な者でもない。最も変化に適応した者だ。』という言葉の意味を私たちは身をもって知らされています。

自治体というところは長年大きな変化をすることがない、変化を嫌い受動的な動きを良とするイメージですが、感染症への対応、ワクチンの接種方法など独自の対応を求められることが多くなり、効率が高い体制には「〇〇モデル」などの名が付けられています。

議会でも多くのアイデアを出し合い提言・要望などを行っておりますが、市民によりよいサービスの提供ができるよう、さらに変化への適応が求められています。

広報広聴委員会

委員長 保谷 武
副委員長 宮下 奈美
委員 古川 たけし
中野 たくし
本田 いてい
榎本 和孝
前川 やす
大石 圭子